

JBIA 洋書輸入協会会報

Vol. 26 No. 9 (通巻304号) 1992年9月

JBIA 視察ミッション1992 SLA 大会出席の報告

本年6月7日より11日まで、米国サンフランシスコ市で開催された SLA [SPECIAL LIBRARIES ASSOCIATION * 米国専門図書館協会] 年次大会に、JBIA は7名のメンバーを派遣いたしました。

5月から6月にかけて米国では、図書館・出版社の年次大会が各所で開かれ、American Booksellers' Association, American Libraries Association, Medical Libraries Association などには、わが国からの参加者も年々増加しております。

JBIA メンバー過半数が取扱う専門書の領域を取扱う図書館員の協会である SPECIAL LIBRARIES ASSOCIATION は、日本の専門図書館協議会を姉妹機関としており、メンバー数は13,000、この大会への参加者はサンフランシスコという観光都市の性格もあって、米国はもとより海外より参加のメンバーも含めて5,000名に達しました。

会議でのメインピックスは、米国政府の提供する図書館レファレンス オンライン ネットワークシステムである INTERNET の技術的・経済的な評価が、米国の SLA メンバーの最大関心事でした。次いで紙の媒体から電子の媒体への移行に際しての経済性、特に価格につい

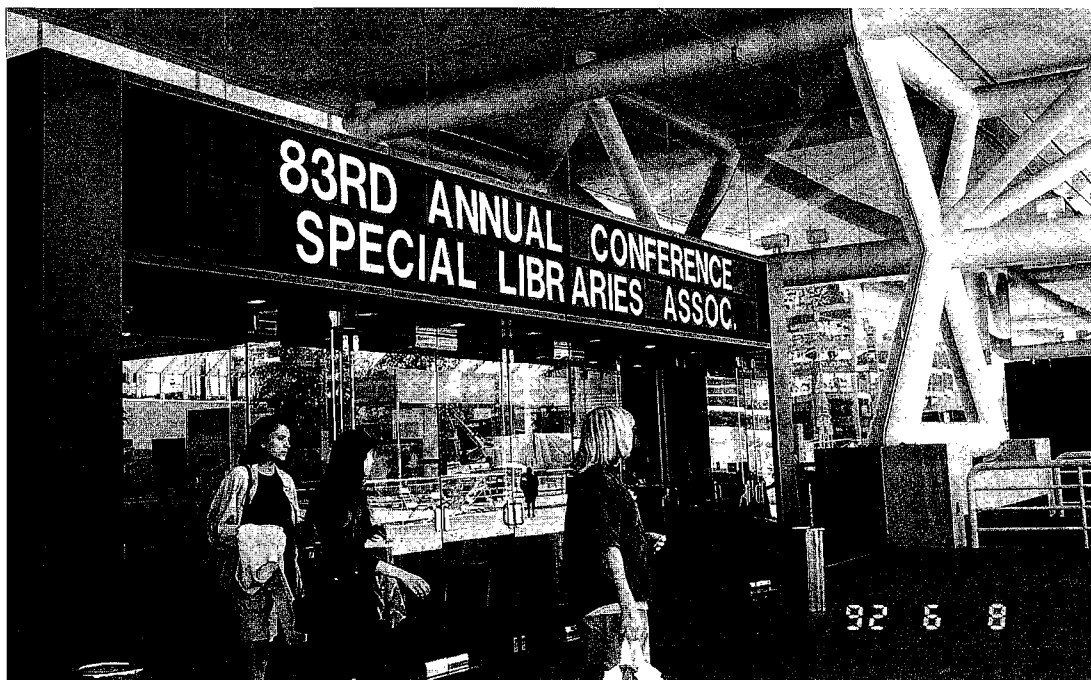
ての問題点、専門雑誌の購読部数の減少と原報複写サービスの伸長などがトピックスとして取上げられていましたが、何といても世界同時不況による図書館予算の削減は、出版社、書店そして図書館員にとって最大の打撃であることは言うまでもありません。従って海外市場、特に日本と東アジアの諸国に対する異常な期待がブームぐりの節にひしひしと感じられました。JBIA メンバーは、主として350コマもある展示場を一日数キロも歩き、新刊書や新しい情報サービスについての情報を求めましたが、専門書の領域では、従来のプリントメディアから電子出版への移行がこれ程強く感じられたことはなく、また同じ電子出版分野でも、オンラインサービス業の業績伸び悩みと CD-ROM 出版サービス業の業績向上が目立ちました。我々 JBIA メンバーは展示場での情報入手のみならず、外では書店や図書館を訪れ、そこで働くライブラリアンやセールスのメンバーと対話し、彼等の職業意識の高さ、競争の激しさを痛感いたしました。また図書館サイド、出版社・書店サイドから見ても女性の数が圧倒的に高いこと、また複合人種社会のアメリカにあっても、この世界は白人の世界であることも一つの発見でありました。

JBIA視察ミッション	洋書輸入協会史(73)	東京の坂と橋と文明開化(28)
1992 SLA大会出席の報告.....1	海外ニュース	文化厚生委員会だより
理事会報告	お知らせ	第64回72会ゴルフコンペ
ニュース 独検の発足	抗議の声、フランス郵政省を動かす...5	広告

世界の医学、科学技術を中心とする専門書の出版は、急速に紙の媒体から電子媒体に変わりつつあり、我々JBIAメンバーも生き残りの為にも、このような機会に新しい技術・商品・市場をこの目で見ることができ、ま

た新世代のメンバーと情報及び知識の交換ができたことは非常に有意義でありました。

JBIA 渉外委員長 山 川 隆 司



理事会報告

7月21日(火)

(一) 6月分収支計算・予算対比表

7月7日(火)総務委員会での検討にもとづく柴田事務局長の報告を承認した。

(二) 国際英語教材展

先に要請をうけた、第13回国際英語教材展(10月24～25日(土・日)お茶の水スクエアC館)に、洋書輸入協会が後援者となることを承認した。

(三) 委員会の編成替え

新委員会の委員長、副委員長の確定および規約改訂委員会の委員決定の報告があり、承認した。

(四) 日米大学図書館会議

第5回日米大学図書館会議寄付金の応募状況が、事務局より報告された。

(五) その他

ニュース

独検の発足

独検(ドイツ語技能検定試験)の第1回試験が(財)ドイツ語学文学振興会の主催で実施されます。級別・検定基準は1、2、3、4級の4段階、試験日程は1992年11月末から1993年1月を予定しています。

ドイツ語学書の売上増につながることを期待しています。詳しくは下記まで。

(財)ドイツ語学文学振興会 独検事務局

〒113 文京区本郷5-30-21 都文堂気付

Tel.03-3813-0596

(株)紀伊屋書店 TN 記

洋書輸入協会史 (73)

洋書輸入協会顧問 相良 廣明

80 諸展示会（前号よりの続き）

80.3 英国学術書展

昭和35（1960）年6月10日の理事会に、出版文化国際交流会の常務理事の中島氏が出席、次のような説明と提案を行った。即ち、British Council から、最近発行の英国学術書約2,000点（分野は理・工・医学書のみ）を買入れ、それが秋頃到着するので、到着したら日本各地でその展示会を開催したいという意向を示された、当交流会はそれに協力し、展示会を主催することとしたので、洋書輸入協会にも何かと御協力を願いたい。という趣旨であり、概略の計画を提示された。

洋書輸入協会としては、検討の結果これに協力することとし、6月20日の懇談会で報告の上、6月25日付、JBIA No. 106で会員に知らせている。

8月には英国学術図書展示会実施要項が作製されている。それによると、主催は英国文化振興会、出版文化国際交流会であり、後援は外務省と文部省、洋書輸入協会は協賛ということになっている。そして8月10日の理事会に出席した中島氏から、開催は来年1月以降の見込みと伝えられている。

昭和36（1961）年1月18日付のJBIA No. 120では、会期を同年3月7日より12日までの6日間、東京では日本橋白木屋5階画廊（約70坪）、陳列は約1,200点などである。また、3月1日付のNo. 122では、同展示会会場の説明役をアカデミア図書、丸善、医学書院、紀伊國屋書店、海外書籍貿易東京営業所、日本出版貿易、三洋出版貿易、日本洋書販売配給が引き受けたとあり、会場受注については、全額前金を申し受けたものだけ洋書輸入協会々員へ輸入が委託されることとなったとのこと。

展示会は、東京開催後各地を巡回している。

80.4 ドイツ技術書展

昭和36（1961）年3月1日付のJBIA No. 123では、上智大学図書館において「ドイツ技術書展」が、2月21日から3月1日まで開催され、目録を協会で買入れて会員に各1部ずつ配布した旨が記載されている。

この展示会の展示図書はそっくり上智大学に寄贈され、新設の上智大学工学部の基本図書となったように記憶し

ている。

80.5 第3回東京国際書籍展示会

昭和36（1961）年4月1日付で、日本出版貿易株式会社より、次の知らせが協会各社に届いた。

記

（前略）さてA. P. ウェールズ・オーガニゼーションをオーガナイザーとし、当社がローカル・マネージャーとして提携開催する第三回東京国際書籍展示会は、愈々来る4月11日より16日迄、別紙要項の通り開催致すことに相成りました。

今回は特に全西独書籍商組合によって編成された出版社287社の参加、並びに全ベルギー書籍組合の編成した組合傘下出版社の参加もありまして、その規模において前回以上権威ある展示会と相成りました。

当展示会の趣旨は、我国洋書輸入業者各位の為に、機会均等のトレード・エキジビションとして御便宜を供することが第一の目的でございますので、是非共この好機会を御活用下さいませよう御案内申し上げます。（以下略）

この展示会の後援は外務省、大蔵省であり、場所は大手町の都立産業会館、参加出品は23ヵ国、約1万冊の大規模なものであった。

80.6 日独修交100周年記念ドイツ展

日独月報の1961年1月号には、日本とプロシヤの間に通商修交条約がはじめて結ばれてから100年目に当たることと、その記念行事がいくつか書かれている。そのうちのひとつとして、日独協会と朝日新聞社の共催により、同年5月2日から7日まで、日本橋三越において記念ドイツ展が開催されることが報じられている。

81 海賊版対策に弁護士登場

81.1 米国出版社の協会が弁護士と契約

洋書輸入協会史 64（Vol. 25 No. 9. 1991（平成3）年9月号所載）の第71章「Authorized Reprint Edition と Asian Edition Club（AEC）の結成……海賊版（盗版）対策に関連して」の第4項「米国側の関心と反応」にお

いて、アーサー・毛利弁護士のことに一寸触れた。それが昭和35（1960）年6月25日付のJBIA No. 106では、6月20日に開催された懇談会の報告として、次のように具体化されている。

記

（前略） 海賊版について

5月5日附JBIA No. 99にてお知らせしました海賊版防止の為、米国弁護士毛利一雄（Arthur K. Mori）氏が、Technical, Scientific and Medical Book Publishers Associationと契約成立の旨通告があり、当日毛利氏代理古賀弁護士が懇談会に御出席になり、御協力をお願いする旨挨拶がありました。今後盗版について情報御入手の節は、下記2氏へ連絡し措置をとりますから、当会理事会まで御通知下さるようお願い申し上げます。

毛利一雄氏 古賀正義氏 （以下略）

この米国側の措置は、親告罪である著作権法違反、即ち海賊版摘発のための行動をやり易くしたということに大きな意義がある。

81.2 弁護士の活動

昭和35（1960）年8月10日の理事会では、神田の某海賊版屋で方々に受注を働きかけているものの資料が入手出来たので弁護士へ廻したこと、文献社の残党が活動して弁護士より告訴されたこと、米国 Year Book Pub.の海賊版出版社の調査が終了したので、告訴の段階へ入っていることなどが報告された。

10月5日の理事会では、毛利弁護士の告発により、京都地検が5,000冊の海賊版を押収したと地元の新聞に大きく報道された由が報告された。もっとも押収された5,000冊の中には、毛利弁護士と契約している出版社以外のものも多く含まれていたため、多少問題が残る模様。またこの5,000冊の中には、東京で出版されたものも多く、それが本富士署管内に集中しており、同署が徹底的にこれを追及したいので、協会に協力を求めてきているとの報告があった。

やはり餅は餅屋という通り、外国の出版社が弁護士と契約したことは、海賊版摘発活動に一転機をもたらしたようである。

82 昭和35（1960）年度（s35.4月～s36.3月）の規約改正、理事改選、新入会員、退会者など

82.1 定時総会と規約改正（理事2名の増加）、会費値上げ

昭和35（1960）年5月25日に日本出版クラブにおいて同年度の定時総会が開かれた。席上桜井会長代理より、会員数も56社となり、次第に隆盛になりつつある旨が報告されると共に、会員数も増えたことであるので、この際に理事の定員を増やし、協会事務の分担と協会活動の活発化を計りたい旨の提案があり、審議の上可決された。この件は6月1日付JBIA No. 102の定時総会報告に次のように記されている。

記

予て御通知申し上げました通り、定時総会を5月25日に開きました。御出席会員33社、委任状11社にて、全議案を下記の通り可決致しました。

1. （略）
2. （略）
3. 理事2名増員及びこれに伴う規約変更……原案通り可決

従って本会規約中第2章第6条の理事が、下記の通り変更されました。

理事長 1名

理事 8名以内（旧6名以内） （以下略）

なお本予算編成の基礎となる会費については、従来の500円を700円に、入会金は従来の4,000円を5,000円に値上げする件も承認を得ている。ただし会費分は8月より実施、内大阪支部費は300円とし、従来4ヵ月分づつ集めていたものを、今後は3ヵ月分づつ集めることに変更している。

82.2 理事改選

投票の結果、次の通り選任された。ただし理事長は互選。

理事長	丸善株式会社	代表者	司 忠
理 事	紀伊國屋書店	〃	田辺 茂一
〃	教文館	〃	武藤 富男
〃	日本洋書販売配給株式会社	〃	渡辺 正広
〃	福本書院	〃	福本初太郎
〃	日本出版貿易株式会社	〃	望月 政治
〃	国際書房	〃	服部 正喬
〃	海外出版貿易株式会社	〃	黒田 通

（次点 東光堂、三洋出版貿易株式会社）

〃 緑書房（関西支部長）

〃 丹羽 正之

なお、規約改正による理事2社の増員で、新たに理事に選任されたのは、日本出版貿易株式会社と、海外出版貿易株式会社の2社である。（続く）

海外ニュース

米国出版産業—今後5年間の力強い成長を予測—

ヴェロニス・スーラー&アソシエーツ社が最近出版した年次レポート“通信産業予測”によると、米国消費者の書籍に対する支出が今後5年間にわたり年率7.6%で伸び、1991年の203億ドルが1996年には292億ドルに達すると予測している。トレード書は年率8.1%、専門・教育書は年率6.7%の成長と予想され、1996年には各々188億ドル、104億ドルに達する見通しとなっている。しかし、トレード書は過去5年間年率10%の勢いで成長したものの、今後は出生率の低下による児童書市場の落ち込みでスローダウンするとしている。

同社によると、1991年のトレード書への支出は、予測の倍以上の7.7%を記録し、同年のビデオやケーブルTV契約申込みよりも書籍への支出が上回った。これは書籍が他の家庭娯楽に押され気味という一部の観測を打消すものであり、読書時間や書籍購入が低下しているとか、新技術が読書に取って代りつつあるという証拠は見当たらないとしている。

書籍の購入はあらゆる所得階層に均等に分布しており、その45%が年間所得3万ドル以下の人達で占められている。また消費者は過去5年間書籍価格の値上りに敏感に反応し、販売部数の増減は価格の高低に連動していると報告している。1991年出版社は値上げを控えめに押さえたため、景気後退にもかかわらず相当の販売部数増を達成した。

—P.W. 6月29日から抜粋—

おしらせ

ペンギン・ブックス・ジャパンは下記新住所へ移転しました。

新住所：〒112 東京都文京区水道2-5-4

石切橋ビル

Tel. (03) 3815-6840

Fax. (03) 3815-6841

抗議の声、フランス郵政省を動かす！

昨年7月中旬、フランス郵政省により書籍小包船便料金制度廃止が決定されて以来、フランス国内外より、多くの抗議の声が郵政省に寄せられてきた。フランス工版組合会長及び文化省書籍部長等は、昨年すでに郵政大臣に対し、「フランス文化・思想の危機、書籍輸出の低迷が懸念される。」と強く抗議していた。

その後、輸出専門のCELF社が中心となって折衝を重ね、今夏、料金改正、船便再開が決定された。ただし正確なる実施日については郵政省の発表待ちの状態である（8月3日現在）。

書籍送料 新料金（日本向）

a. 郵便小包（5 kg まで）

最低 250g 9.50 FF

最高 5000g 90.00 FF

b. 特別郵袋（5 kg 以上25kg まで）

1 kg あたり 14.00 FF

c. 船便（1件50kg 以上㊟）

㊟ 適用条件：一出版社（取次店）が、一度に郵便局から出荷する重量が最低50kg、ただし受取人複数可。

50kgの内容構成により、1 kg あたり、

8.40 FF または 16.20 FF

（aおよびbは、SAL便の発送ルート予定）

尚、SAL料金援助制度は、6月30日をもって廃止され、その代わりに7月1日よりエアフレート混載発送システムに対して政府の援助金が適用されている。先進国日本に対して援助金が出されることは異例のことである。これも日本市場重視、及びCELF社の努力の成果と思われる。

ビューロー ホソヤ

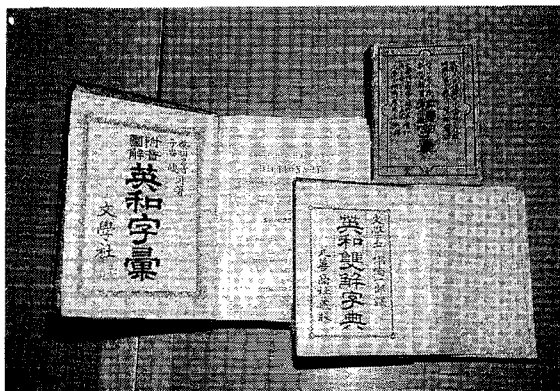
細谷 愛子

1808年(文化5)8月15日、オランダ旗をはためかせて一艘の船が長崎港に姿を現した。実は擬装したイギリス船フェートン号で、彼らはオランダ人2名を人質にして食料と水を要求した。結局この事件は奉行がその要求に応じ、責任を取って切腹したことで一応の決着をみた。しかし、この「フェートン号事件」が幕府に与えた衝撃は極めて大きく、異国船打払令施行の遠因ともなったし、また一方では英語習得の必要性を痛切に悟らせる結果となって、幕府の命で通詞6名がその学習に着手する。この時オランダ商館員のブロムホフ(Jan Cook Blomhoff、のち商館長となる)を英語教師として学習を始めたのが日本の英学のスタートとなったもので、その成果として1814年(文化11)に日本で初めての英和辞書『諸厄利亜語林大成』が本木庄左衛門・榎林栄左衛門・吉雄権之助の訳編により制作される。全15巻541丁、ABC配列で約5,900の見出し語を収めた本格的なものであった。

勝海舟の奔走により幕府が洋書の翻訳・調査や洋学教育を目的として「蕃書調所」を開設したのは1856年(安政3)であったが、1862年(文久2)には「洋書調所」と改称し、この「洋書調所」の事業として同年発行された『英和对訳袖珍辞書』は、ペリーの来航時の通訳をつとめ、当時洋書調所教授方であった堀達之助が編纂主任となって西周助(のち西周)や箕作禎一郎(麟祥)などの協力編訳で完成した。初めての活字本辞書で洋紙を使用し表紙もモロッコ革で装丁したわが国最初の洋装本であった。袖珍というポケット版を意味する表題がつけられたが、実際には953ページ、35,000の見出し語をもつ大部の辞書であった。洋紙が少なく200部しか印刷しなかったのだからたちまち売り切れ、1866年(慶応2)に改正増補版が千部発行された。薩摩の英学生高橋良昭と前田正毅は洋行の費用を得るため辞書の制作を思い立ち、この改正増補版をもとにして上海の美華書院(ヘボンの辞書を印刷)で『改正増補 和訳英辞書』を印刷し明治2年に上梓したが、通称「薩摩辞書」として流布し、明治20年頃まで英学普及に大きな役割を果たした。明治6年には日本で初めての図入り辞書で1546ページの大冊、柴田昌吉・子安峻共編『附音挿図英和字彙』が刊行される。明

治前期の英和辞書として最も優れたもので、その後の辞書編纂に与えた影響は大きかったといわれている。また、明治14年に刊行の井上哲次郎編『哲学字彙』に収載された哲学・論理学の抽象語は他の辞書に盛んに流用され、明治初期における抽象語の普及が進んでいく。

ところで、三省堂は明治14年(1881)に古本屋として創業されたが、明治16年には処女出版として『ウエルソン氏・第1リードル独案内』(有名な教科書「ウィルソン・リーダー」の翻訳)を刊行し、その翌年には辞書の出版をてがけ、西村義行編『英和袖珍字彙』で「辞書の三省堂」としての歴史の第一歩を踏み出した。明治20年には版權を得て『附音挿図英和字彙』を翻刻出版し、そして明治21年に刊行した『ウェブスター氏新刊大辞書と訳字彙』は、明治初期日本の英語教育に貢献の大きかったイーストレイキ(Frank Warrington Eastlake)と教育家で東京の市会議員をつとめた棚橋一郎の共訳になるもので、同社が単独で企画・刊行した初めての辞書として記念すべきものであったという。この辞書はその後多くの版を重ね、明治40年頃まで英学界に広く使用された。なお棚橋一郎はそれ以前の明治18年に丸善から『英和雙解字典』(P. A. Nuttall 原著)を刊行している。さらに三省堂の辞書で、明治後期の英語教育者として功績のあった神田乃武ら12名によって明治44年に編纂された『模範英和辞典』は、それまでの辞書の「事典的」性格から「辞典的」なものへの過渡期に位置し、前置詞・助動詞などの機能語を含む語学辞典の性質の進んだもので、明治期掉尾を飾る優れた辞書であった。



第64回72会ゴルフコンペ

洋書輸入協会懇親旅行をかねての第64回72会ゴルフコンペは、6月5日(金)に、くもり・微風、絶好のゴルフ日和りのもと、大熱海国際ゴルフコースにて、19名の参加でスタートしました。久しぶりのアウト48のゲーテ村山さん。ゴルフを楽しんだ極東の伊藤さんはBB賞。初参加の紀伊國屋太田さんは次回に期待したいところ。53.49のスコアは大洋の和田さんにしてみれば安定しています。名著の小関さんもOUT48だけなら優勝でした。八重州の竹内さんも45.47としっかりしています。医学書院の石原さんもハーフ40台が出る様になりました。大洋の中村さんはフォームがいいので近々上位に来そうです。丸善の中山さんはバーも多いがOBも多い。同じく丸善の竹村さんはいつも40台のスコアです。都文堂の大井さんはお年は70台ですがスコアとフォームは50台。国際の中村さん成績も安定してニアピン賞がとれる様になりました。ユサコの池田さんはアウト16番のショートであわやホールインワンかと思わせる見事なショットでした。丸善の

三宅さんはスコアも45.43と立派ですがドラゴン2ヶを取る力強いフォームです。紀伊國屋の吉本さん30台が出てもおかしくないOUT41でした。最後にドライバーもアイアンもパターも全て絶好調のUPS川原さんが第64回のチャンピオンになりました。上位の成績は下記の通りでした。

優勝	川原 (UPS)	41.44	net70
2位	相良 (顧問)	44.43	net75
3位	藤井 (第三書房)	55.50	net75
4位	吉本 (紀伊國屋)	49.41	net76
5位	鶴 (東亜ブック)	43.41	net77

ベストグロス賞 川原 (UPS)

ドラゴン賞 三宅 (丸善) 2ヶ、竹村 (丸善)、
中村啓司 (大洋)

ニアピン賞 池田 (ユサコ) 2ヶ、中山 (丸善)、
中村勲 (国際)

(S. T 記)

第24回 洋書まつり '92

洋書輸入協会主催合同セール

と き 1992年10月23日(金)・24日(土)

23日 10:00~18:00

24日 10:00~17:00

ところ 東京古書会館 千代田区神田小川町3-22 電話 03-3293-0161
当日直通 03-3295-2828

(国電・お茶の水駅、都営地下鉄新宿線・神保町駅または小川町下車)

ニュー・パルグレイブ貨幣・金融辞典/全2巻 THE NEW PALGRAVE DICTIONARY OF MONEY AND FINANCE

Ed. by J. Eatwell, M. Milgate and P. Newman

Sept. '92. 2 Vols. total ca. 2,000 p. (注文番号 MBN:9103038)

概価 ￥81,000

(税別)

見出し語 15,000, 2,000,000 語よりなるこの「貨幣・金融辞典」は、貨幣と金融の実務と理論の両面における進歩をわかりやすく、かつ一貫した内容を提供することを目的としています。各項目には関連書の紹介があり、さらに詳しく知りたい方のためのガイドとなっています。

本辞典は、K. J. Arrow, J. Eatwellを始めとする斯界の権威者の監修・編集によるもので、研究者はもとより当該分野の理論の進歩に関心のある実務家・政策の決定に携わる方々にとっても必須のレファレンスとなるでしょう。

編集陣

Peter Newman Emeritus Professor of Economics, The Johns Hopkins University

Murray Milgate John L. Loeb Associate Professor of the Social Sciences, Harvard University

John Eatwell Fellow and Director of Studies in Economics at Trinity College, Cambridge

監修陣

ノーベル経済学賞受賞者(*印)を含む、国際的研究者と金融実務に精通した実業家よりなる19人の監修者

Kenneth J. Arrow/Pascal Bridel/Alan Budd/Giancarlo Gandolfo/Charles A. Goodhart/Koichi Hamada

Pedro-Pablo Kuczynski/David Laidler/Jacques de Larosière/

Donald N. McCloskey/Robert C. Merton/Merton H. Miller/

Domenico Mario Nuti/Maurice Obstfeld/M. Hashem Pesaran/

Richard Roll/Stephen A. Ross/Norbert Walter/Geoffrey

Whittington.

■本事典の構成と利用法

- 貨幣・金融の分野のキーポイントを押さえた約1,000の大見出し。
- 関連用語が本文記述に引き続いて、Small Capitalでまとめられている。
- 重要な文献の書誌ガイド。
- 急速に発達する金融の膨大な用語のために用意された便利な用語集。

その他、寄稿者リスト、テーマ別索引、総索引も収載。

※詳細資料(No.6-92-036)がございますので、ご請求ください。



日本総代理店

(本社・日本橋店) 〒103 東京都中央区日本橋 2-3-10 ☎(03)3272-7211 振替東京7-5番

支店・営業所—東京(お茶の水・丸の内・内幸町・浜松町・アークヒルズ・渋谷・錦糸町・北千住・柏・取手・土浦・船橋)・千葉・八王子・大宮・所沢・新潟/札幌・仙台・盛岡・郡山・秋田・水戸・横浜・静岡・浜松・名古屋・岐阜・三重・金沢・富山・福井・京都・滋賀・大阪・神戸・姫路・岡山・松山・広島・山口・福岡・長崎・鹿児島・沖縄・ニューヨーク・シカゴ・ロンドン

1992年9月 通巻第304号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫

☎ 103 東京都中央区日本橋1-21-4 千代田会館5階20号室

☎(03) 3271-6901 FAX.(03) 3271-6920

☎ 530 関西支部 大阪北区芝田2-1-18 西阪急ビル(南緑書房内) ☎(06) 371-5395